

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月18日

協議会名:石狩市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ダイコク交通株式会社	ユニバーサルデザイン車両1台 購入		A 計画通り事業は適切に実施 された。	A ユニバーサルデザインタク シー車両を増加させること で、バスの利用が困難な高 齢者や障 がい者の移動の円滑化が 図られた。	車椅子のまま乗車いただく際の セッティング時間短縮を図り、よ り利用しやすい環境を整える。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 石狩市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
石狩市	【南北方面】 予約制デマンド方式 雄冬や柏木などの各戸から幹線交通に接続または浜益温泉や診療所などまで運行	平成30年4月27日に道の駅「あいろーど厚田」がオープンしたことに伴い、5月1日からデマンド交通と中央バス札幌厚田線の乗り換えを道の駅でできるようにしたことから、利用者増に繋がった。	B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 特に、南北方面、厚田方面では補助対象外になる運行が多かった。	C 【事業の目標】 年間利用者数(10月～9月) 目標1,688人 実績1,362人 目標よりも実績は少なかった。前年度同様、補助対象外の利用も多く、目標に達しなかった要因となった。	平成30年7月に浜益区民に対し、アンケート調査を行い、住民のニーズを把握をしたうえで、利便性等向上に向けて改善を図っていく。
石狩市	【東方面】 予約制デマンド方式 浜益、柏木、川下、実田、御料地各戸から幹線交通に接続または浜益温泉、診療所などまで運行				
石狩市	【厚田方面】 予約制デマンド方式 浜益区内各戸から中央バス札幌厚線に接続				